

評価領域	生徒指導
------	------

重点目標	不登校問題の改善を図る生徒指導の充実
------	--------------------



現 状	<p>近年本校の不登校者数出現率（生徒1000人当たり）は、市や県、また、全国と比較しても高い水準にある。平成21年度・平成22年度ともに、本校における不登校及び不登校傾向が見られる生徒は延べ10名であった。内訳は、不登校7名。不登校傾向3名である。不登校となった主な原因は、友人関係の問題や学業不振、家庭環境の変化、親子関係の問題、その他本人にかかわる問題等であるが、中には複数の要因が絡み合っている場合もあった。</p> <p>こうした実態から、本校においては、不登校・不登校傾向生徒対策は極めて重要な課題となっている。</p>	<p>生徒千人あたりの不登校者数出現率比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>本 校</th> <th>能代市</th> <th>秋田県</th> <th>全 国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21年度(人)</td> <td>31.5</td> <td>14.9</td> <td>20.1</td> <td>27.7</td> </tr> <tr> <td>22年度(人)</td> <td>33.1</td> <td>18.1</td> <td>21.5</td> <td>27.4</td> </tr> </tbody> </table>		本 校	能代市	秋田県	全 国	21年度(人)	31.5	14.9	20.1	27.7	22年度(人)	33.1	18.1	21.5	27.4
		本 校	能代市	秋田県	全 国												
21年度(人)	31.5	14.9	20.1	27.7													
22年度(人)	33.1	18.1	21.5	27.4													



具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度及び平成22年度の不登校及び不登校傾向生徒数の半減を目指す
--------	---



目標達成のための方策	<ul style="list-style-type: none"> 不登校傾向生徒の早期発見と即時対応に努め、未然防止を図る。 いじめ等にかかわる「心のアンケート」を学期に1回（年3回）実施し、学級担任と全ての生徒が面談できるように時間及び機会を設定し、実態把握に努める。 「心のアンケート」実施月と長期休業日がある8月と1月を除いた月の月上旬に、学校生活全般にかかわるアンケートを実施し、個や学級、部活動等における実態の把握に努める。 生徒支援担当を活用し、学年部と連携して不登校（傾向）生徒に対する継続的な家庭訪問に努める。 生徒及び家庭の実態把握及び今後の適切な方策を検討するねらいから、学年部を中心に長期休業期間中に、不登校（傾向）生徒に対して家庭訪問や電話連絡を行う等、積極的にかかわりをもつようにする。 本人及び家庭に関する知り得た情報は、その都度報告し合い、共通理解をもって、適切かつ即時性のある対応ができるようにする。 校内支援体制として、スクールカウンセラーや心の教室相談員との連携を一層強める。また、校外支援及び協力体制として、北児童相談所や市家庭児童相談員、適応指導教室等との連絡調整や情報交換に努める。
------------	---

